

「タレンツ・トーキョー2019」の実施及び公開プログラムの取材のご案内

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団は、映画分野の人材育成事業「タレンツ・トーキョー2019」を令和元年11月25日(月)から11月30日(土)に開催します。会期中には以下のとおり公開プログラムを実施します。是非ともご来場、ご取材いただきますよう、よろしくお願ひいたします。

■開催趣旨

映画分野における人材育成事業「タレンツ・トーキョー」は、映画監督やプロデューサーを目指すアジアの参加者(以下タレンツ)に、世界で活躍していくためのノウハウや国際的なネットワークを構築する機会を提供するものです。映画監督、プロデューサー、セールスの各部門において世界で活躍するプロフェッショナルを講師陣として迎え、講義やプレゼンテーションを通じて参加者の育成を図ります。また、タレンツ同士の交流や講師とタレンツとの交流、さらには、同時開催される映画祭「東京フィルメックス」に集まる映画監督たちとタレンツとの交流により、タレンツが国際的なネットワークを新たに築くことを目指しています。

■開催概要

名称：タレンツ・トーキョー2019

期日：令和元(2019)年11月25日(月)から11月30日(土)まで
※「第20回東京フィルメックス」開催期間中の6日間

会場：有楽町朝日ホールほか

対象者：映画監督、プロデューサーを目指す者15名

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団、
国際交流基金アジアセンター、タレンツ・トーキョー実行委員会(東京フィルメックス)

提携：ベルリナーレ・タレンツ(ベルリン国際映画祭)

協力：ゲーテ・インスティテュート 東京ドイツ文化センター



タレンツ・トーキョー2018の様子

■公開プログラム

(1)11月28日(木) 13:00-14:30 オープン・キャンパス「私たちの十年」

(2)11月28日(木) 15:00-18:00 公開プレゼンテーション

(3)11月30日(土) 17:15-17:45(予定) 授賞式及び閉会式

※タレンツ・トーキョー2019のメイン講師及び参加者については、別紙1をご参照ください。

※公開プログラムの詳細及び取材については、別紙2をご参照ください。

<タレンツ・トーキョー2019に関する問い合わせ先>

タレンツ・トーキョー実行委員会

TEL : 03-6258-0333 FAX : 03-62587-0339

Email : talents@talents-tokyo.jp

ホームページ : <https://talents-tokyo.jp>



「2020年に向けた実行プラン」事業

本件は、「2020年に向けた実行プラン」に係る事業です。

「スマートシティ 政策の柱8 芸術文化の振興」

本件は、「ホストシティTokyoプロジェクト」に係る事業です。

「カテゴリー：魅力発信 プロジェクト名：東京文化プログラムの拡充・推進」

<取材に関する問い合わせ先>

生活文化局文化振興部文化事業課 安田・大越 電話 03-5320-7658 内線 29-450

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 糸園・圓城寺 電話 03-6256-8432

「タレンツ・トーキョー 2019」 メイン講師



(左から、ブリランテ・メンドーサ氏、ジェームズ・リュウ氏、セバスティアン・シェスノ氏、フロリアン・ウエグホルン氏)

ブリランテ・メンドーサ (監督)

フィリピン映画を代表する映画監督。フィリピン人で初めて3大映画祭にて賞を受賞する。2007年ベルリン国際映画祭では、『どん底』がカリガリ賞を受賞。2012年には、『囚われ人 パラワン島観光客 21人誘拐事件』が同映画祭のコンペティション部門で上映される。2009年には、『グランドマザー』がヴェネツィア国際映画祭の金獅子賞にノミネートされた。2012年には、『汝が子宮』が La Navicella Venezia Cinema Award を受賞。『キナタイ マニラ・アンダーグラウンド』が、2009年カンヌ国際映画祭の監督賞を受賞。その一年前には、『サービス』がパルムドールにノミネートされている。2016年には、『ローサは密告された』がカンヌで主演女優賞を受賞。同作は、2017年アカデミー賞のフィリピンエントリーになった。

ジェームズ・リュウ (プロデューサー)

30年のキャリアを持ち、自主映画のプロデューサーとして幅広い活躍を遂げる。2005年に、台湾自主映画の世界配給に特化した Joint Entertainment を設立。2015年には、自主映画の製作とプロデュース業を受け持つ Joint Pictures を設立。最新作では、タレンツ・トーキョー2013 修了生、チャン・チーウェイ監督の『Jang Gae』の製作に関わる。『Jang Gae』は2015年にネクスト・マスターズ・サポート・プログラムの企画開発ファンドを受賞した。代表作には、園子温監督の『希望の国』(2012)、藤田容介監督の『福福荘の福ちゃん』(2014)、『十年台湾』(2018)、半野喜弘監督の『パラダイス・ネクスト』(2019)等がある。

セバスティアン・シェスノ (ワールド・セールス)

映画業界で20年以上活動する。これまでに France Télévisions Distribution、セルロイド・ドリームズ、Rezo で働く。2014年の終わりに、年間8本の映画を扱うワールド・セールス企業、Cercamon を立ち上げる。Cercamon とは、オクシタン語で世界の探求者を意味し、同社はメジャーなマーケットと映画祭を網羅する。担当した映画には、ダリボル・マタニッチ監督の『灼熱』(2015) (カンヌ国際映画祭ある視点部門審査員賞受賞)、カミラ・アンディニ監督の『見えるもの、見えざるもの』(2017) (ベルリン映画祭 K プラス長編映画作品賞受賞)、カーステン・タン監督の『ポップ・アイ』(2017) (サンダンス映画祭オフィシャル・セレクション、ロッテルダム国際映画祭ビッグスクリーンコンペティション最優秀作品賞受賞) 等がある。

また、今回のプログラムにはベルリン国際映画祭（ベルリナーレ・タレンツ）より、フロリアン・ウェグホルン氏（プログラム・マネージャー）も参加いたします。

「タレンツ・トーキョー2019」 参加者（タレンツ）

監督：

Fei Pang WONG（香港）
Sinung Winahyoko（インドネシア）
古川原壮志（日本）
三澤拓哉（日本）
KANG Heayun（韓国）
Douglas SEOK（韓国/アメリカ合衆国）
Joseph Albert MANGAT（フィリピン）
CHIANG Wei Liang（シンガポール）
WANG Ping-Wen（台湾）
Ash MAYFAIR（ベトナム/アメリカ合衆国）

プロデューサー：

XU Jianshang（中国）
ZHOU Xinyu（中国）
Suryo Wiyogo（インドネシア）
水野詠子（日本）
Carlo VALENZONA（フィリピン）

*氏名（国名／地域名）

*タレンツ名は国・地域名のアルファベット順で表示しています。

【タレンツ・トーキョー2019 公開プログラム取材のご案内】

1 公開プログラム概要

(1) 11月28日(木) 13:00~14:30 オープン・キャンパス「私たちの十年」

今年の東京フィルメックスのコンペティション部門に初長編作品『昨夜、あなたが微笑んでいた』が出品されるニアン・カヴィッチ氏(2016年タレンツ・トーキョー修了)ほか過去の修了生を迎え、タレンツ・トーキョーの10年の歩みを振り返ります。

登壇者：ニアン・カヴィッチ氏 他

司会：市山尚三(タレンツ・トーキョー実行委員会 委員長)【日本語同時通訳あり】

(2) 11月28日(木) 15:00~18:00 公開プレゼンテーション

参加者がプロデューサーや配給会社に対して、自身の企画のプレゼンテーションを行います。

※ 著作権保護のため、動画撮影はご遠慮ください。【日本語同時通訳あり】

(3) 11月30日(土) 17:15~17:45(予定) 授賞式及び閉会式

公開プレゼンテーションを行った企画のうち、優秀な企画1点を表彰します。

【日本語逐次通訳あり】

2 会場

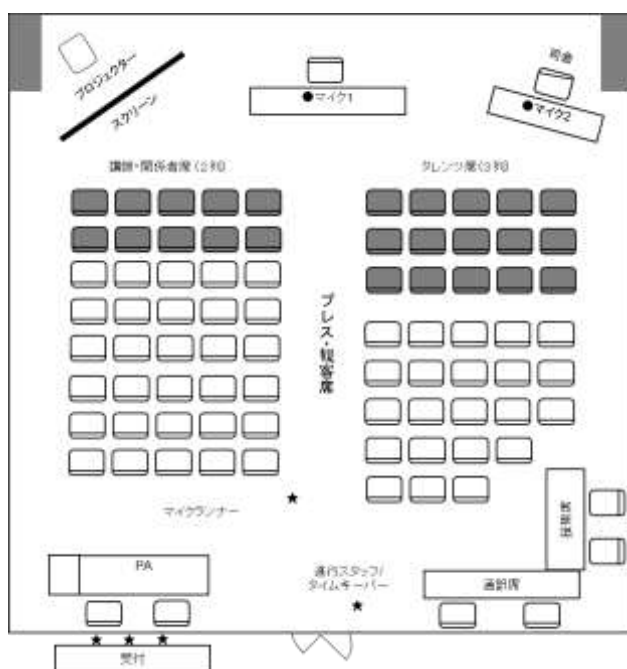
有楽町朝日ホール・スクエアB

東京都千代田区有楽町二丁目5番1号 有楽町マリオン11階

- ・JR(山手線・京浜東北線)有楽町駅 中央口または銀座口
- ・東京メトロ(日比谷線、丸の内線、銀座線)銀座駅 C4出口
- ・東京メトロ(有楽町線)有楽町駅 D7出口

※いずれも徒歩1~2分

※ホール入口へは、映画館チケット売場横のエレベーターで11階までお越し下さい。



**有楽町朝日ホール
スクエア
ギャラリー**
(有楽町マリオン11階) (Tel.03-3284-0131)
(Fax.03-3213-4386)

3 取材申込方法

取材を希望される場合は、**令和元年11月26日(火)正午**までに、別紙3「取材申込票」によりFAXにて生活文化局文化振興部文化事業課(FAX:03-5388-1327)へお申し込みください。

4 取材受付

(1) 受付時間

各プログラムとも開始予定時刻の15分前から受付を開始いたしますので、お申込みプログラム開始の5分前までに受付を済ませてください。お申込みをいただいても時間までにご来場されない場合、お席の準備ができないことがありますので、予めご了承ください。

(2) 受付場所等

会場入口のプレス受付にて、取材申込票もしくはお名刺をご提示の上、社名・人数をお知らせください。「プレスパス」をお渡しいたします。

5 取材ポイント

プレス席をご用意しておりますので、取材はプレス席よりお願いいたします。指定場所以外での取材はご遠慮ください。

6 撮影について

(1) 本事業にて撮影した動画・写真を、番組制作等、報道以外でご使用の場合は、必ず事前にご相談ください。

(2) **11月28日(木)15:00~18:00「公開プレゼンテーション」については、動画撮影は禁止とさせていただきます。**また、発表中のスクリーン映像については、動画撮影に加えて写真撮影もご遠慮ください。ご迷惑をおかけしますが、著作権保護及び円滑なプログラム進行のため、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

7 取材における留意事項

(1) 取材にあたっては、自社腕章及び受付でお渡しする「プレスパス」を着用してください。

(2) 会場の都合上、プレス席、プレスエリアが手狭となっております。各社譲り合いのご協力をお願いいたします。

(3) プログラム実施中の出入りは固くお断りいたします。また、会場内では、係員の指示に従ってください。

(4) 取材に必要な電源は、各社にてご用意ください。

(5) 当日、講師・参加者へ個別取材をご希望される場合は、取材受付時にお申し出ください。

(6) プログラムの内容は変更になる場合がありますので、ご了承ください。

「タレンツ・トーキョー2019」 取材申込票

取材申込期限 11月26日（火）正午 まで

FAX：03-5388-1327

あて先：生活文化局文化振興部文化事業課 担当：橋本 行

御社名 _____

取材代表者氏名 _____

連絡先（携帯電話） _____

人 数 _____ 人

(ペン ・ ムービー ・ スチール) (該当に○)

※ 取材を希望するプログラムの□に✓をつけてください。

 11月28日(木) 13:00-14:30 オープン・キャンパス「私たちの十年」 11月28日(木) 15:00-18:00 公開プレゼンテーション 11月30日(土) 17:15-17:45 (予定) 授賞式及び閉会式

※ご来場の際は、本票もしくはお名刺を受付でご提示ください。

※ご記入いただいた個人情報は、出欠の確認以外に使用することはありません。

※当日は、お申込みプログラムの開始予定時刻5分前までに受付を済ませてください。

お申込みをいただいても時間までにご来場されない場合、お席の準備ができないことがありますので、予めご了承ください。